

作家の澤地久枝さんや大江健三郎さん、加藤周一さんらがよびかけて2004年に誕生した「九条の会」。いま、各地の「九条の会」は、憲法問題をはじめ、TPP（環太平洋連携協定）や原発など、さまざまな問題で地道な活動をつづけています。そうした県内の「九条の会」を順次、ご紹介します。



ランナーズ9の会に参加

橋本さんは、14年ほど前にある大会で出会った高齢者ランナーが忘れられないといいます。

そのランナーは、背中に「核兵器をこの地球からなくせ」という手書きのゼッケンを着けていたからです。自分がこうして走れるのも、平和だからこそ。平和を大切にしたいという気持ち強い橋本さんは、韓国で出会ったランナーの、憲法9条を守ろうという「ランナーズ9の会」に所属しました。こうして、平和を

訴えて走ることを決意しました。

ランナーズ9の会とは

「ランナーズ9の会」は尼崎のランナー、緒方素子さんの呼びかけで、2005年3月30日に結成された全国組織です。現在、全国に472人の会員がいて、そのなかにはフランス、韓国、ルーマニア、ベルギーなど、外国人の会員もいるそうです。埼玉県の会員は25人。それぞれの会員が、いろいろなレースに出場し、ユニホームやゼッケンに「9条を守ろう」というようなメッセージを書いて参加しているそうです。

東京マラソンには、韓国人の「9の会ランナー」が毎年参加し、落選して参加できない会員は歩道を走り応援してきました。毎年7、8月には、全国各地で反核・平和マラソンがおこなわれています。メンバーはこれを成功させるため、積極的に協力しているそうで、橋本さんも走っています。

100歳になっても走る

橋本さんは、数年前に退職しましたが、現在も走りつづけています。その鍛えぬかれた体には、年齢を感じさせない若さがあります。走っている彼のことを「ハシリモト・セイシュン」と呼ぶ人もいるとのこと。「走るのが楽しくてしょうがない」という橋本さん。目標は、「100歳になっても走っていること」だといいます。橋本さんは、これからも「9の会」のユニホームを着て走り、世界中に日本国憲法9条をアピールしつづけることでしょう。

RUNNERS 9の会

●連絡先

橋本 静修

住所 春日部市大沼 6-25-2

電話 048-737-0249